

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

来年度
募集

運転士・車掌は事務職？

社友会による労働組合破壊をうち破ろう

Q：車掌・運転士になりたい

A：エリア職の事務職（事務）へのご応募をおすすめします。

Q：駅ですっと働きたい

A：駅での勤務を希望される方は、駅業務の採用を行っているグループ各社（JESS等）にご応募ください。（採用情報Q&Aより）

Q：乗務員になりたくて入社した。退職まで乗務員を続けることはできないということか？

A：これからは生涯乗務員ではなく、多様な経験を積んでいただきたい。（人財戦略部Q&Aより）

来年度の募集に関するJR東日本のウェブサイトの内容は衝撃的です。驚くことに、乗務員は職種として「事務職（事務）」に分類されています。Q&Aでは「車掌・運転士になりたいならエリア職の事務職（事務）に応募せよ」と書いてあります。

今年3月の乗務員勤務制度の改悪で「乗務員はあくまで事務職」と位置づけられ、企画部門との兼務を通常にしようとしているのです。

「変革2027」に書かれた「JR本体に残す鉄道業務は企画部門と込み運用できるものだけ」という構想そのものです。

駅業務についても「駅で働きたいならグループ会社に応募を」と回答しています。もはや

駅業務はJR本体ではなくグループ会社の仕事だといっているのです。

社友会と一体の労働組合の破壊

6月21日、新たに「人財戦略部」が設立されました。人事部と厚生部を統合したのですが、人財戦略部は「労使交渉のポイント」として組合との議論を各職場に「報告」したり、社内報でジョブローテーションのQ&Aを行ったりしています。明らかに社友会と一体で動いています。

そこでは、「将来の夢に向かって」「キャリアをオーダーメイド」と歯の浮くような言葉が並び一方、「生涯乗務員ではなく多様な経験」「10年を超えない」と露骨に語っています。

会社のいうキャリアアップのポストなど、乗務員全体からすればごくわずかです。結局、「運転士を10年やっても出せできないなら駅子会社に出向しろ」と言いたいのです。

社友会ではなく闘う労働組合を

鉄道に関わるあらゆる仕事を軽んじ、労働者をコマのように扱う会社の態度は本心に怒りに堪えません。社友会にだけは入ってはならない。必要なのは闘う労働組合です。職場から声を上げよう。